



平成 24 年度 和歌山県文化財専門員 採用選考試験案内

和歌山県人事委員会
和歌山県教育委員会

- 受付期間 平成24年10月12日(金)～平成24年10月25日(木) 消印有効
○第1次試験日時 平成24年12月 2日(日) 午前9時集合
○第1次試験場所 和歌山県立向陽高等学校
○問い合わせ・
受験申し込み 和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
電話073(441)3737

1 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分	採用予定人員	主 な 職 務 内 容
文化財専門員 (埋蔵担当)	3名程度	和歌山県教育委員会事務局等における埋蔵文化財の発掘調査及び文化財の保存・活用等に関する業務

2 受験資格

以下の資格要件を満たす人

試験区分	資 格 要 件
文化財専門員 (埋蔵担当)	昭和52年4月2日以降に生まれた人で、埋蔵文化財についての専門知識を持ち、かつ、博物館法に規定する学芸員の資格を有する人又は平成25年3月31日までに取得見込みの人

次のいずれかに該当する人（イ～オは、地方公務員法第16条に規定する人）は受験できません

ア 日本国籍を有しない人

イ 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）

ウ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人

エ 和歌山県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人

オ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

3 試験日時、試験地及び合格発表等

	試験日時	試験地	合格発表等
第1次試験 (書類選考)			平成24年11月12日(月)までに書類選考結果を申込者全員に通知します。
第1次試験 (書類選考を除く。)	平成24年12月2日(日) 午前9時集合	和歌山市	平成24年12月中旬に県庁北別館2階本館連絡通路に掲示し、和歌山県教育委員会のホームページ(http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500700/shiken.html)で発表するとともに、合格者に通知します。
第2次試験	平成25年1月19日(土)	和歌山市	平成25年2月上旬に県庁北別館2階本館連絡通路に掲示し、和歌山県のホームページ(http://www.pref.wakayama.lg.jp/)の新着情報でお知らせするとともに、受験者全員に通知します。

※第1次試験の会場は、本書末尾の「第1次試験会場案内図」を参照してください。

※第2次試験の詳細については、第1次試験合格者にお知らせします。

4 試験等の方法及び内容

試験種目	配点	内 容
第1次試験	書類選考	200点 提出された応募調書(研究論文の概要等、自己アピール、応募の動機)による、研究等の内容、募集職種との適合性等についての書類選考
	専門試験 択一式・記述式・論文 (120分)	500点 書類選考合格者に対する文化財専門員(埋蔵担当)としての専門的知識及び能力についての筆記試験
	実技試験 (45分)	100点 書類選考合格者に対する実技試験 土器の実測図作成等(実測用具持参)
	面接試験	200点 書類選考合格者に対する専門的知識及び能力等についての個別面接
	適性検査	通常職務遂行に必要な適性についての検査 ※検査結果は第2次試験の面接試験参考資料とします。
第2次試験	教養試験 択一式 (120分)	400点 公務員として必要な一般的知識及び能力についての筆記試験(大学卒業程度) ＜出題分野＞社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能
	論文試験 (90分)	200点 一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験(1200字程度)
	面接試験	1000点 人物、能力、性格等についての個別面接

(1) 試験の内容は、大学卒業程度で行います。

(2) 専門試験の出題分野は、おおむね以下のとおりです。

試験区分	出 題 分 野
文化財専門員 (埋蔵担当)	考古学分野、発掘調査、関係法令等に関する専門事項

※第1次試験の合格者は、各試験種目の総合得点順に決定し、最終合格者は、第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点順に決定します。

ただし、各試験種目には合格基準があり、一つでも基準に達しないものがある場合は、総合得点が高くても不合格となります。

5 受験手続及び受付期間

(1) 申込用紙の配布場所

和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課、和歌山県立紀伊風土記の丘、和歌山県人事委員会事務局、各振興局地域振興部総務県民課、和歌山県東京事務所

申込用紙を郵便で請求する場合は、封筒の表に「文化財専門員申込用紙請求」と朱書きし、自分の宛先を明記し、140 円切手を貼った返信用封筒（角形 2 号、縦 33 cm×横 24 cm 程度の大きさ）を必ず同封して、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課あて請求してください。

また、和歌山県教育委員会のホームページ (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500700/shiken.html>) から申込用紙を印刷することも可能です。

(2) 申込方法

受付期間	平成 24 年 10 月 12 日（金）から平成 24 年 10 月 25 日（木）まで ※ 10 月 25 日（木）までの消印のあるものに限って受け付けます。
申込方法	次の書類及び返信用封筒に必要事項を記入し、下記申込先に郵送してください。 郵送にあたっては、封筒の表に「文化財専門員受験申込」と朱書きし、必ず簡易書留郵便で郵送してください。メール（インターネット）及び直接持参による受付は行いません。 ① 申込書（所定様式） ② 応募調書（応募調書の作成要領に従い作成して下さい。） ③ 返信用封筒（長型 3 号縦 [23.5cm × 横 12cm 程度の大きさ] の封筒）に自分の宛名を明記し、80 円切手を貼ってください。 ※ これ以外の方法による不着の問題につきましては、一切対応しかねます。
申込先	和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課 〒 640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1-1

(3) 書類選考結果

応募調書により、募集職種との適合性等について書類選考を実施し、11 月 12 日（月）までに申込者全員に選考結果を通知します。

なお、申込書の記載事項に不備があるときには受理できない場合があります。

また、書類選考の結果通知が 11 月 16 日（金）までに到着しないときは、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課まで至急連絡してください。

6 合格から採用まで

(1) この試験の最終合格者は平成 25 年 4 月採用予定です。

(2) 学芸員の資格が取得できない場合は採用されません。

(3) 採用時の給料月額、178,800 円で、経歴その他に応じて一定の額が加算されます。

（平成 24 年 4 月 1 日現在の給料月額です。）このほか、職員の給与に関する条例の定めに従い、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が支給されます。

7 試験結果の開示について

この試験の結果については、和歌山県個人情報保護条例第 25 条の規定により、口頭により開示請求することができます。

開示を希望する人は、以下により受験者本人が受験票又は本人であることを証明する書類（運転免許証、旅券等の顔写真付きで公的機関発行のものに限る。）を持参の上、和歌山県人事委員会事務局（県庁北別館 5 階 和歌山市小松原通 1-1）に請求してください。

試験の種類	開示請求できる人	開示内容	開示期間
第 1 次試験	第 1 次試験不合格者	総合得点及び総合順位	合格発表の日から 1 月間 （土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。） 午前 9 時（開示期間の初日は合格発表後）から午後 5 時 45 分まで
第 2 次試験	第 2 次試験受験者	第 1 次試験の総合得点及び総合順位 第 1 次試験及び第 2 次試験を合わせた総合得点及び総合順位	

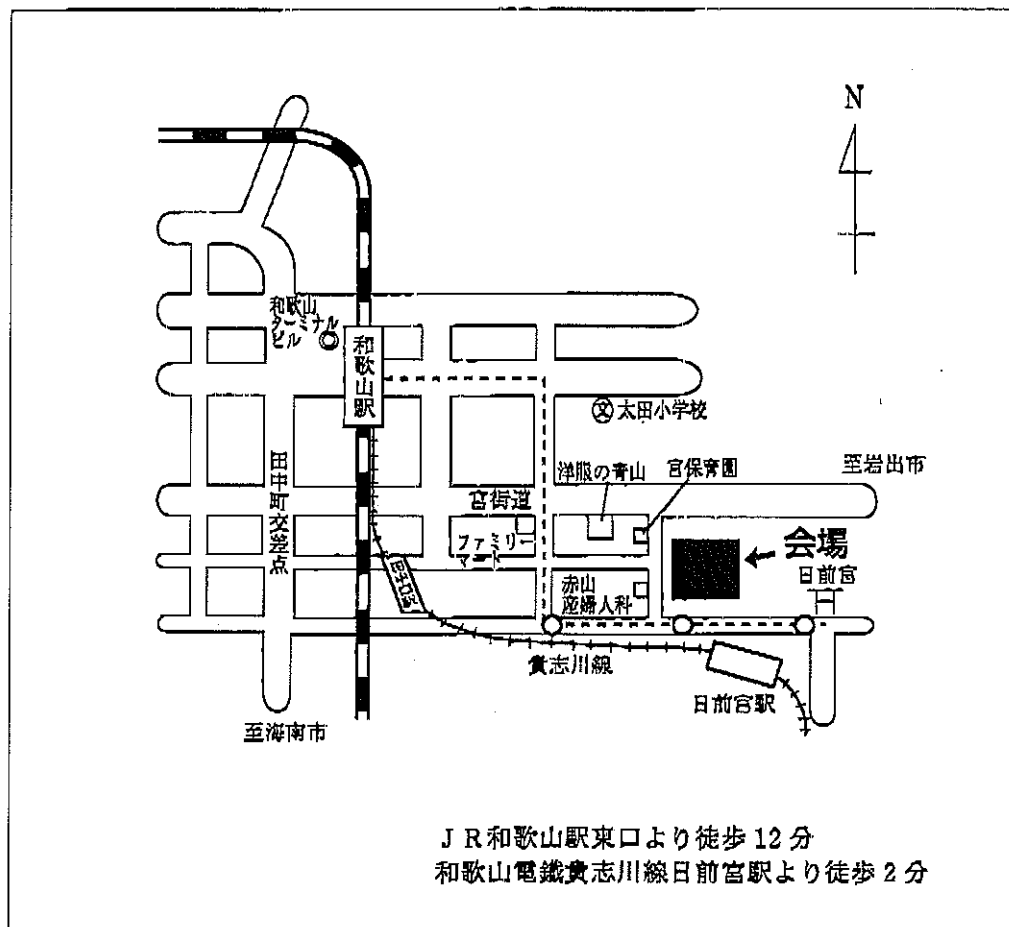
8 その他

○台風・地震などの非常時には、試験日程等を変更することがあります。

○この試験についての問い合わせは、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課にしてください。

試験会場案内図

県立向陽高等学校
(和歌山市太田 127)



(試験会場は全面禁煙です。) ---○--- バス路線、バス停

- 試験会場および付近には駐車場がありません。公共交通機関を利用して来場してください。
(車の乗り入れは禁止します。また迷惑駐車を発見した時は、受験できない場合があります。)

(注) 試験会場周辺で、有料にて合格通知等の受付を行っている場合がありますが、当教育委員会とは、一切関係ありませんので、ご注意ください。

平成24年度和歌山県文化財専門員採用選考試験申込書

○記入心得を必ず読んで記入してください

試験区分	文化財専門員 (埋蔵担当)	受験番号	※
------	------------------	------	---

氏名	(フリガナ) _____ _____	性別	_____	どちらかを○で囲む (昭和・平成) 年 月 日生 平成25年4月1日現在 満 歳
現住所	(フリガナ) _____ 〒 _____	電話番号	_____	(写真) 写真の大きさは縦 45mm X 横 35mm 程度です。 裏面全体にのりを付けて貼ってください。  ・申込み前5ヶ月以内撮影 ・顔横、上半身、正面向 ・写真の裏面に氏名及び生年月日を記入してください
連絡先	(フリガナ) _____ 〒 _____	電話番号	_____	
合格通知書送付希望先を○で囲む 現住所 ・ 連絡先				平成 年 月撮影

学歴	在学期間(和暦で記入)	学校名(修了・卒業・中退等の区分を選択) ※新しい順で	学部・学科名
	～ 年 月	□修了・卒業 □修卒見 □中退 □ 年在学	
	～ 年 月	□修了・卒業 □中退	
	～ 年 月	□修了・卒業 □中退	

学芸員取得年月日	年 月 日 取得・見込み (○で囲む)
----------	---------------------

私は平成24年度和歌山県文化財専門員採用選考試験を受験したいので申し込みます。

なお、私は受験資格要件を満たしており、地方公務員法第16号各号のいずれにも該当していません。

また、申込書記載事項に相違ありません。

平成 年 月 日

氏名 _____

・氏名は必ず自署してください。自署がなければ受験できません。

(記入心得)

- 記載事項に不正があると受験が無効となる場合があります。
- 申込みをするときには、試験案内をよく読んで記入してください。
- 地方公務員法第16条については試験案内の「受験資格」のところに記載しているとおりです。
- 受験番号※を除くすべての欄にもれなく記入してください。
- 記入はすべて自筆で、インキ又はボールペンを用い、楷書でていねいに書いてください。
- 数字は算用数字を用い、フリガナはカタカナで年月日は和暦で記入してください。
- 性別について、記入してください。
- 連絡先が現住所と同じ場合は記入する必要はありません。
- 学歴は現在(最終)の学校(学部・学科)から新しい順に書いてください。高等学校入学以前の学歴は必要ありません。(なお、「修卒見」とは来春までに修了・卒業見込みの場合で、「年在学」とは来春までに修了・卒業見込みのない場合を言います。)
- 在学期間の終期については、来春までに修了・卒業見込みの人は修了・卒業見込み年月日を、修了・卒業見込みのない人は、申請時点の年月を記入してください。

応募調書の作成要領

申込書に添付する応募調書には、下記の事項をできる限り詳しく記載して下さい。
用紙は、A4版（日本工業規格）を用いて下さい。容量（字数）は自由です。

1. 埋蔵文化財に関する経歴

（1）大学等での経歴

- ・学部での専攻分野、研究内容、卒業論文等
- ・大学院にあっては、研究テーマとその概要
- ・これまでに発表した論文名（学会誌、機関誌、発表場所）
及びその他の著作物（調査研究報告書等）の書誌名

（2）博物館施設・研究機関等での経歴

- ・埋蔵文化財発掘調査等に関係する主な職歴
- ・他の博物館施設、教育機関、研究機関等で担当した業務の内容（具体的に）
- ・その他

※主な発表論文（3点以内）の写しを添付してください。（但し、卒業論文等で総ページ数が20ページを超え、別刷りのない著作物については、研究テーマ、著者名及び発行年のわかるページの写しと、方法、結果、考察の概要がわかるページの写しで可）

※経歴や職歴の概要、その他の論文や報告書等の概要を記載して下さい。

2. 自己アピール

- ・性格、特技、趣味、体験、クラブ活動、ボランティア活動などの自己紹介

3. 応募の動機

- ・和歌山県文化財専門員（埋蔵担当）を希望した理由
- ・和歌山県文化財専門員（埋蔵担当）として取り組みたいこと等